NEWS　RELEASE

国土交通省

国土交通省　近畿運輸局

【問い合わせ先】
近畿運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課
（担当）大當・清水　（電話）06-6949-6431

令和３年９月９日

近畿運輸局初！

令和3年度 近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰式を 完全オンラインで挙行します。

近畿運輸局は、当局管内に所在し、バリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた団体等に対して、「バリアフリー化推進功労者表彰」を実施しています。

この度、「優秀賞」受賞者が４者、「奨励賞」受賞者４者に決定しましたので、お知らせします。内容は別紙を参照下さい。

＜表彰式＞　開催日時　：　令和３年９月１５日（水）　１４時から
開催方法　：　オンライン（Teamsを使用します）

《主な受賞理由》

【優秀賞】

山陽電気鉄道 株式会社	ハード・ソフト両面でいろいろな取組を行ってきている中で、社員教育だけにとどまらず、特に乗客に対し、今まで対応が十分ではなかった知的障害への配慮の必要性を理解してもらうための啓発活動として製作したポスターについて高く評価。他の交通事業者に向けた一つのモデルになると期待。
特定非営利活動法人 滋賀県脊髄損傷者協会	県と障害当事者団体が協働し、質量共に大規模な調査を行い、調査結果をとりまとめ、公表したことにより、必要な配慮や現状課題への気づきを与えられたことを評価。一過性ではなく、継続して調査を行い、バリアフリー整備状況について、今後も適切に更新されていくことを期待。
奈良県立 奈良西養護学校 一般社団法人 市民自転車学校プロジェクト 公益財団法人 公害地域再生センター	知的障害・発達障害児に対し、「自転車に乗るのは危ない」という既存の考えを覆すようなユニークな授業を取り入れた独自性を評価。今後も自転車を用いた新たな教育の方向性を示すことを期待。
株式会社 フジドリームエアラインズ 株式会社 MHI エアロスペースプロダクション 株式会社 エスエーエス	他社には無い器材であり、独自性がある。車椅子利用者がリフトを使う際の不安や、周囲から特別視されてしまう課題をクリアし、一般旅客と同じ場所で同時に搭乗できることが真の共生社会の実現に向けて評価できる。今後の展開による社会的影響力、波及力に期待。

【奨励賞】

NPO 法人 ウィズアス	障害者・高齢者に対し、神戸でのおもてなしを、先駆的に、より多くの組織と連携され取り組まれていることを評価。今後独自性を出し、更なる展開に期待。
ANA 関西空港 株式会社	社内のみにとどまらず、社会福祉施設に直接出向き、空港や航空を感じられる機会を提供することにより、職員が、多様な障害を持つ利用者への配慮を実際に体感し、理解が促進されることを評価。航空会社の一つのモデルとなりうるため、今後の更なる展開に期待。
スカイマーク株式会社　神戸空港支店	航空会社の旅客担当のみならず、ランプ作業員とも協力する等、部署を超えた連携により、バリアフリーの接遇向上に努めていることを評価。今後、独自性のある取り組みに期待。
Peach Aviation 株式会社	様々な利用者を想定した教育教材が充実しており、ユニバーサルデザインの考え方を全従業員に展開できている。社員研修も、国土交通省作成のプログラムに準拠した内容を取り入れた研修に加え、障害当事者を中心とした部署構築、ネイティブ講師による手話サークルを展開する等、多様な人材の活躍を評価。今後、接遇研修の実績を重ねられることを期待。

※　今般の新型コロナウィルスの状況を踏まえ、取材については、各社最低限の人数でお願い致します。希望される方は、別紙「申込書」9月１３日（月）１２時までに FAX にてご連絡ください。
取材申込者には、後日 URL をお知らせ致します。

配布先：青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、陸運記者会(ハイタク部会)、海事関係業界、観光関係業界

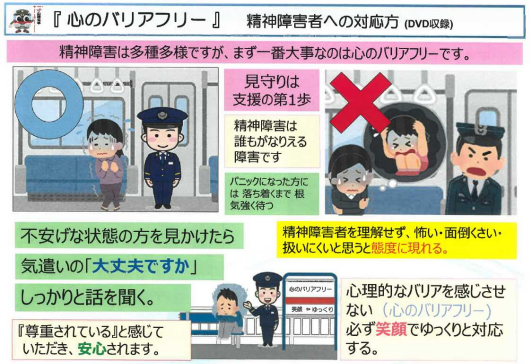
山陽電気鉄道株式会社

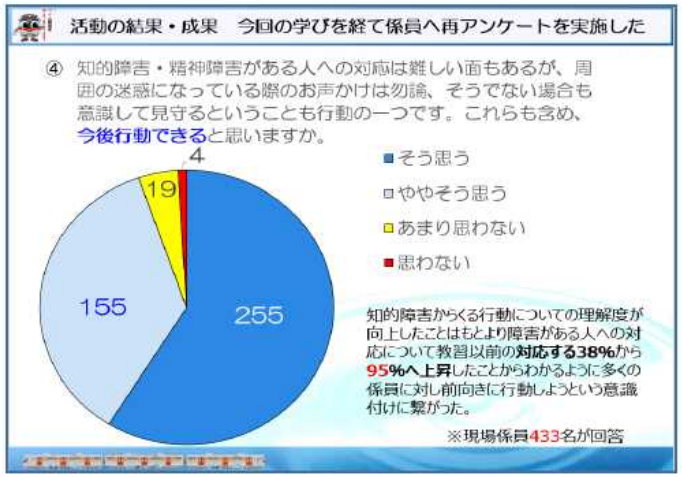
別紙　近畿運輸局

障害者の乗車時における課題に関する現場の駅係員及び乗務員へのアンケート結果を基にして、障害者家族会を通じて行った知的障害の疑似体験や、障害者乗車時の接遇法や障害者の行動理解に関するＤＶＤの作成など、社員教育を充実させるとともに、障害者団体の協力を得てポスターによる啓発活動を展開している。

同ポスターは、知的障害への配慮を取り上げるという点でこれまであまり例のないものとなっており、乗客間の相互理解が重要なポイントであることを分かりやすく示している。

加えて、エレベーター設置、多機能トイレ整備などのハード施策を実施。





社員教育資料（DVD・アンケート結果）

啓発ポスター「私のことを知ってください」

（BF整備）
↑　林崎松江海岸駅
尾上の松駅　→

特定非営利活動法人 滋賀県脊髄損傷者協会

近畿運輸局

障害当事者団体（滋賀県脊髄損傷協会）が、県内すべての鉄道駅（122カ所）及び主要宿泊施設（約70カ所）の宿泊施設のバリアフリー状況について、障害当事者団体の目線できめ細やかに調査。
調査結果は、ＨＰ「旅しが style！～湖国を自由にでかけよう～」に掲載するとともに、冊子として、障害当事者団体、関係機関及び県庁内に配布。また、県内の観光情報機関のHPにバナーを掲載してもらい、広く情報を発信をしている。

★ 40項目のチェックリストに基づき、調査。
R2年度移動等円滑化評価会議近畿分科会にて報告。
第4回移動等円滑化評価会議においても事例紹介されている。

奈良西養護学校/一般社団法人 市民自転車学校プロジェクト/公益財団法人 公害地域再生センター

近畿運輸局

障害者向けの自転車教育は危ないという先入観等の障壁によりほとんど検討・実施されていないが、障害者が自転車に乗れるようになったという直接的な達成感だけではなく、社会性、協調性、環境認知等、障害者の自立活動にあたっての課題の解決に繋がる取り組み。

今後、障害者に対応した自転車の開発や継続した普及活動を通じ、障害当事者の生活の質の向上を目指す。

エコモ交通バリアフリー研究・活動助成対象

【教員アンケート結果】

表4：自転車を使った授業を継続的に行った場合、効果があると思う点（複数回答）

	回答数	%
1. 体力がつく	3	21%
2. バランスが良くなる	12	86%
3. 様々な体の使い方ができる	13	93%
4. 協調性・社会性が育まれる	8	57%
5. 自身・やる気が出る	10	71%
6. 判断力が向上する	10	71%
7. 自転車に乗れるようになる	9	64%
8. 交通ルールの理解	6	43%
9. コミュニケーション能力	3	21%
10. その他	3	21%

（有効回答数14）

その他、自由回答（欄外）
・余暇活動につながる。興味関心の幅が広がる。
・興味をもつものが広がり、自分から取り組みでみようとする自主性
・人による、内容にも
・1. 体幹が整う
・9. 人間関係を育むカも

表5：自転車を使った授業を「自立活動（学習指導要領）」の項目での評価

効果が低い←	1	2	3	4	5	→効果が高い
1. 健康の保持	2	1	3	3	3	
2. 心理的な安定	0	1	3	7	2	
3. 人間関係の形成	0	0	2	9	1	
4. 環境の把握	0	0	2	5	6	
5. 身体の動き	0	0	0	3	10	
6. コミュニケーション	0	0	5	4	3	

	a：点数化	b:有効回答数	c:最高点	d評価:a/c
1. 健康の保持	40	12	60	67%
2. 心理的な安定	49	13	65	75%
3. 人間関係の形成	47	12	60	78%
4. 環境の把握	56	13	65	86%
5. 身体の動き	62	13	65	95%
6. コミュニケーション	46	12	60	77%

※a点数化：各評価を1＝1点、2＝2点、3＝3点、4=4点、5=5点とした場合の点数の合計
※c最高点＝有効回答数×5点
※d評価：a点数化/c最高点

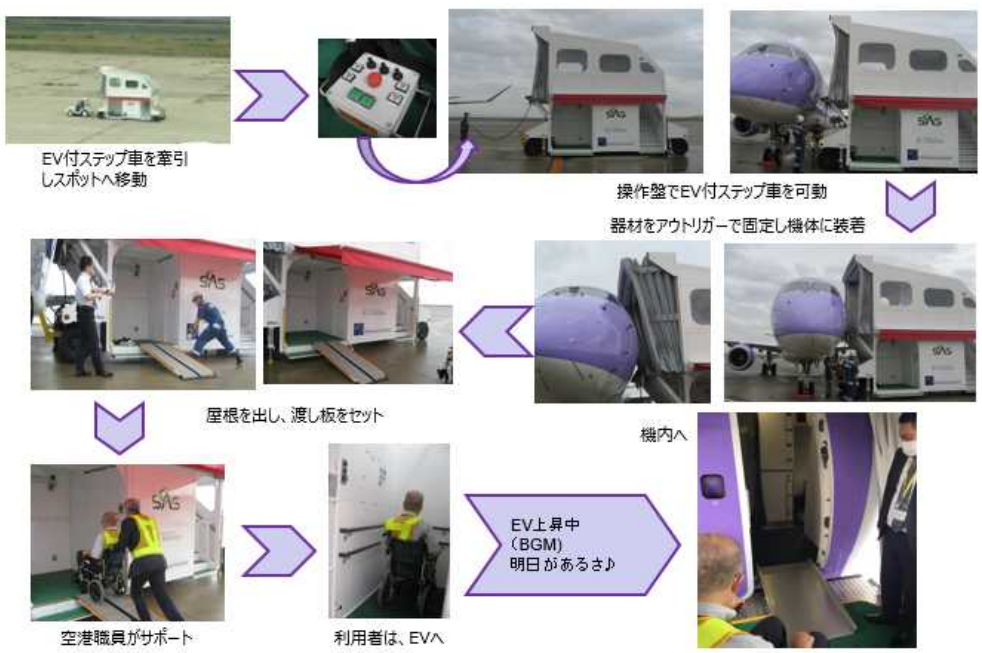
株式会社フジドリームエアラインズ/株式会社エスエーエス/株式会社MHIエアロスペースプロダクション

近畿運輸局

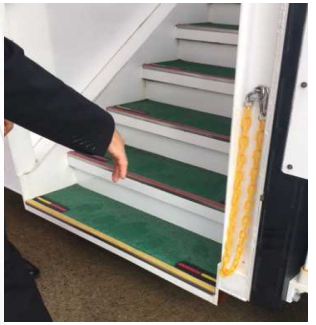
地方空港への乗り入れが中心で、ステップ車の使用機会が多いことから、利用者の声を反映すべくエレベーター式を開発し（これまではリフト式が一般的に使用されている）、神戸空港に配置（小牧、熊本に次ぐ3空港目）。初号機からサイズを全長1.3m、全幅30cm縮小し、コンパクト化を実現。また、操作盤をリモート化し、雨よけを大型化し収納可能にするなど、進化させている。

エレベーターの導入により、階段での昇降機利用時に車椅子利用者の恐怖心や不安解消に繋がった。また、エレベーターは、二重ドア式で稼動時は音楽が流れる仕組みになっており、安全性に加え快適性も確保されている。エレベーター使用中に、他の旅客は階段での昇降が可能で、搭乗及び降機が中断されないことから、全ての人の利便性向上になりユニバーサルデザインの概念に一致している。

階段には弱視者対応で色づけがされていたり、階段途中には踊り場スペースが確保されていたり、旅客のペースに合わせた搭乗及び降機が可能。



弱視者対応色付階段



収納式雨よけ

EV 二重扉

NPO法人 ウィズアス

近畿運輸局

平成17年より高齢者や障害者が安心安全に神戸滞在を楽しめる支援事業を先駆的に障害当事者と共に展開している。また、平成23年には「NPO法人日本ユニバーサルツーリズム推進ネットワーク」を設立し、ユニバーサルツーリズムの取組を全国各地域のネットワークでつなぐための活動を推進している。更に平成27年には兵庫県と連携し、県内エリアでのユニバーサルツーリズムの活動を活発化している。

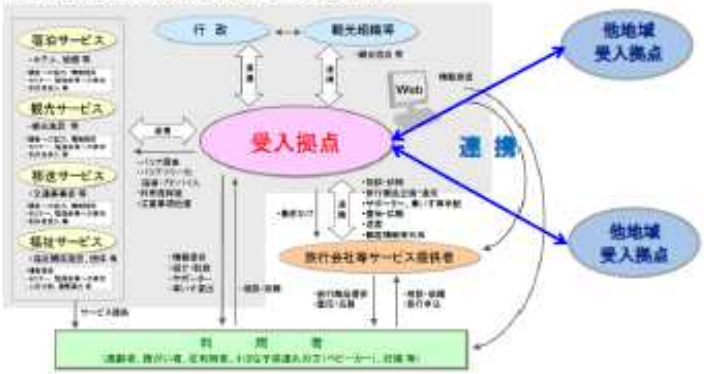
主な活動としては、神戸ユニバーサル観光ガイドブック（現在第6巻）、神戸ユニバーサルライフ情報誌「びと」（現在80号）を発刊しているほか、車椅子の貸し出し、観光相談窓口、ホスピタリティ研修（神戸市会議員、区役所職員、ホテル新人従業員等）など多岐にわたり事業を展開している。

国、自治体からの表彰実績も数多く有り、マスメディアでも数々取り上げられている。

様式1-2）自発性に関わる取組（活動紹介掲載記事）

兵庫ユニバーサルツーリズムの推進について

1　ユニバーサルツーリズムのネットワークシステム



2　県内観光地でのネットワーク構築に向けた事業

区分		段階	取組内容	H27	H28	H29	H30	R1	R2
各観光地	第1段階	受入れ側の気運醸成	理解促進・気運醸成（セミナー）	（神戸）（淡路）（姫路）	但馬	丹波	阪神	—	—
	第2段階	住民・地域への情報発信	普及啓発フォーラムの開催	淡路	播磨	但馬	丹波	阪神	—
	第3段階	県内外の旅行会社向け情報発信	招聘旅行による情報発信	神戸	淡路	播磨	但馬	丹波	阪神
	第4段階	県内外の旅行者向け情報発信	ユニバーサルツーリズムマップの作成・情報発信	—	—	淡路	播磨	但馬	丹波
全県		拠点ネットワークの構築・定着	フォローアップ研修の実施	—	—	神戸 播磨 但馬 丹波 淡路	神戸 阪神 播磨 但馬 丹波 淡路	神戸 阪神 播磨 但馬 丹波 淡路	神戸 阪神 播磨 但馬 丹波 淡路

3　目指すべき県内ネットワーク

ANA関西空港 株式会社

近畿運輸局

ANAグループにおいて定められた共通教育に加え、独自のソフト施策として、全従業員のユニバーサルサービスに関する意識向上、とりわけ接遇部門による障害者へのサービス向上を目的に、大阪赤十字病院附属大手前整肢学園との間で年2回学園及び関西空港で航空教室を開催している。各回に、従業員は30～50名が公募で参加、学園（障害当事者（学園利用者）及び保護者）は50名が参加している。

当学園利用者及びその保護者にとっては、航空機や航空機を取り巻く器材、従業員を身近に感じることができると共に、安心快適に航空機を利用できる環境があることを知る機会となっている。

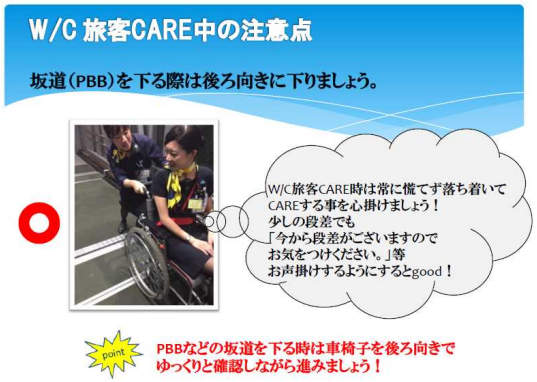
今年で5年目となる継続した取り組みで有り、昨年度はコロナにより教室開催は出来なかったがメッセージ交換を行い交流を継続している。

スカイマーク株式会社 神戸空港支店

近畿運輸局

利用者に直接携わる接客部門のみならず、間接的に利用者の安全を考え航空機を扱うグランドハンドリング部門が相互に知恵を出し合い、神戸空港の施設に合わせた従業員教育資料を作成。具体的には、リフター式ステップ車の安全性を追求し、車椅子停止位置の明示による改善、車椅子利用者のボーディングブリッジ使用時における航空機との段差解消、ボーディングブリッジ内の傾斜走行時における車椅子の操作やリフター使用時の注意点を同教育資料に反映している。

その他、予約段階から配慮を要する利用者を確認し、便をボーディングブリッジ設置スポットへ変更する仕組みも構築されており、バリアフリーのための接遇力向上が図られている。



Peach Aviation 株式会社

近畿運輸局

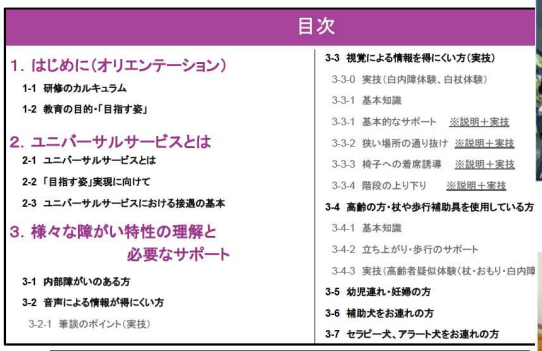
社内の人材の多様性を積極的に高め、様々な障害種別を持つ従業員で構成された組織「ほなやろ 課」を発足させた。障害者社員のサポート体制等が評価され、2020年度の大阪府ハートフル企業顕彰の中の「ハートフル企業チャレンジ応援賞」を航空会社で初受賞。

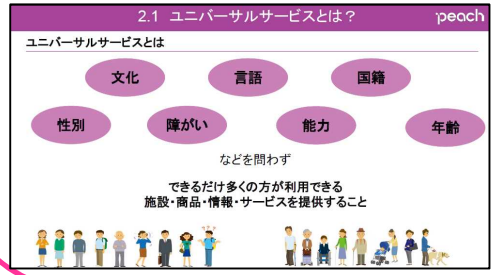
また、社内に手話サークルを設け、客室乗務員への接遇力向上は元より、社内コミュニケーションツールとして社内の手話ネイティブ講師による講座を定期的に開催している。

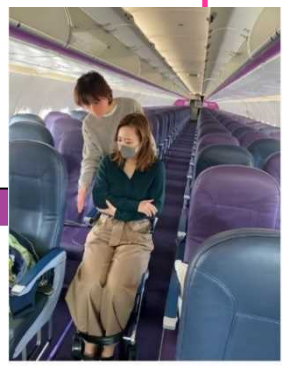
ユニバーサル教育として、コロナ禍の状況を踏まえた精神・知的・発達障害を含む様々な利用者に対応する教材を整備し全社員向けに教育を行うとともに、国土交通省作成の「交通事業者向け接遇研修モデルプログラム」に準拠した研修を今年度より実施している。

社内手話サークル活動写真 ①

社内手話サークル活動写真②







別紙

「近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰式」
取 材 申 込 書

返信先：近畿運輸局　交通政策部　バリアフリー推進課　あて
FAX番号：06－6949－6169

（ふりがな） 氏　名	
所属（会社名）	
連絡先（TEL）	
連絡先（メールアドレス）	

※送り状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXして下さい。なお、お手数ではございますが、
FAX送信後、受信確認のため、下記の【受信確認先】までご連絡下さい。

【受信確認先】
近畿運輸局　交通政策部　バリアフリー推進課　大當・清水　　TEL：06－6949－6431